

事業所名

セカンドホームしん

児童発達支援 支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

1 日

法人（事業所）理念		「真心」大きな真心と喜びのある学習環境づくりに努めます。 「信頼」児童や保護者の方のもとより、広く社会から信頼される質の高い児童支援を目指します。 「躍進」互いに認め合い、力を合わせて躍進できる人間関係づくりに努めます。					
支援方針		お子さまの「得意を伸ばし」「苦手を減らす」お子さま一人ひとりにあわせた利用者中心の支援を行なう。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	別紙1参照					
	運動・感覚	別紙2参照					
	認知・行動	別紙3参照					
	言語 コミュニケーション	別紙4参照					
	人間関係 社会性	別紙5参照					
家族支援		個別支援計画に基づいて、お子さまの支援内容を説明します。 送迎時にお子さまの状況を共有します。 適宜、面談を実施します。			移行支援		送迎時に、保育園・幼稚園の先生との情報共有 年度変わりや行事開催時など適宜、保育園・幼稚園との連携を図る
地域支援・地域連携		自治会の催し物に参加 年に1回以上の地域清掃 避難訓練や消防署見学を行い連携 地域のボランティアの方との連携			職員の質の向上		月1回以上の施設内研修の実施 施設外研修への派遣
主な行事等		ランチパーティの開催 外出イベントの実施（動物園・地域の防災センター・NEXCO・プラネタリウム・美術館など） 地域のボランティアの方による催し物の開催					

事業所名：セカンドホームしん（児童発達支援）

作成日 2025年1月1日

項目	主なねらい
健康・生活	①健康状態の維持・改善
	②生活のリズムや生活習慣の形成
	③基本的な生活スキルの獲得と向上
具体的な支援内容	
健康状態の把握	
<p>①事業所到着時と帰宅前に検温と視診を行います。</p> <p>②〔鼻水が出る〕〔咳が出る〕等の自らの体調についても意識できるよう鼻のかみ方やマスクの着用等の支援を行います。</p> <p>③活動中の動きや顔色、口唇色などの観察を行ない平常とは異なった状態を速やかに見つけ出し、必要な対応を行ないます。</p>	
健康状態の維持・改善	
<p>①集団活動等の一環として体を思いっきり動かすことができる環境を提供致します。また体力の維持及び運動能力の向上、何より運動が楽しいと思えるように支援します。</p> <p>②意思表示が困難であることものの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、専門職と連携しながら小さなサインでも心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行ないます。</p>	
基本的な生活スキルの獲得	
<p>①事業所での日常生活や個別課題の中で、整理整頓（お片付け）の習慣がつけられるよう、個人の荷物置き場を設置したり、玩具は収納場所を決め物の把握を行えるようにします。</p> <p>②来所時には手洗い・うがい、お手洗いの後は手洗いが自然と行えるように手順表を掲載しております。</p> <p>③食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的技能の獲得および向上のために個別課題の中で支援します。</p>	
構造化等により生活環境を整える	
<p>①個別・集団活動等、様々なあそびや体験を通して全体の状況や流れを学ぶことができるように室内にスケジュールを掲示し支援を行っています。</p> <p>②お子さま一人ひとりの特性に合わせて声や指示をかけるタイミングや状況を理解できるように〔目で見て理解できる〕環境を設定します。</p> <p>③医療的ケア児に適切な医療ケアを受けられるよう保護者の方に協力を得ながら環境整備を行います。</p>	

事業所名：セカンドホームしん（児童発達支援）

作成日 2025年1月1日

項目	主なねらい
運動・感覚	①姿勢と運動・動作の向上
	②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
	③保有する感覚の総合的な活用
具体的な支援内容	
姿勢と運動・動作の向上	
<p>①日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図ります。 - 生活内での基本的動作を主に靴の着脱、手洗い・うがい・排泄・食事等の支援を行ないます。</p> <p>②個別課題・集団活動の中で、椅子や机を用いて支援を行い正しい姿勢の習得を目指します。 - お子さま一人ひとりの特性に合わせ集中できるツールを用いたり、体幹の筋力維持・強化を図ることで自然と「座る」が行えるように支援します。</p>	
補助的な手段の活用	
<p>①お子さまが使用しているメガネや補聴器、食事においてはスプーンやフォーク、お箸など各種の補助ツールを効果的に活用できるように支援します。</p> <p>②五感で楽しめる季節に応じた制作活動を提供して基本的な「感覚」を楽しみながら自身で感じられるように支援します。</p>	
保有する感覚の活用	
<p>①保有する五感（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚）を最大限活かすことができるように、基本動作・感覚運動・昇降運動・ボディイメージを身につけられるよう運動や集団活動を通して支援します。</p> <p>②縄跳びや缶ぽっくり、バランスボールなどを用いて、バランス感覚など体の使い方や強弱・方向の感覚を見つけられるように支援します。</p> <p>③感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をします。</p>	

事業所名：セカンドホームしん（児童発達支援）

作成日 2025年1月1日

項目	主なねらい
認知・行動	①認知の発達と行動の習得
	②空間認知・色・時間・数等の概念形成の習得
	③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（行動障害の予防および対応）
具体的な支援内容	
認知の発達と行動の習得	
<p>①お子さま一人ひとりの特性に応じた、五感を十分に活用して必要な情報を収集しやすいように、視覚：色や形（絵や文字）、聴覚：音や声、嗅覚・味覚：香りや味、触覚：触り心地や温度が直接分かるように認知機能の発達を促す支援を提供します。</p> <p>②個別課題・集団活動の中で活動内容から情報を処理しやすいようにイラストや写真を用いて手順を習得し、言葉や実際に保育者が演じてルールの説明を「目で見て理解できる」内容として、実際に自らが行動につなげられるように支援致します。</p>	
空間・時間・数等の概念形成の習得	
<p>①多い・少ない、大きい・小さい、長い・短い、重い・軽いなどの概念が「目で見て理解できる」具体的な対象物を用いて支援致します。</p> <p>（例）積み木の数・ボールの大小・紐の長さでは視覚的要素から概念形成を促します。</p> <p>（例）午前中のプログラム・午後のプログラムをホワイトボードに掲示して時間の概念形成を促します。</p> <p>（例）活動の終了時にチャイムを鳴らし時間の概念形成を促します。</p> <p>（例）活動フロア机や椅子の配置を変えて具体的活動内容の仕分けを行い概念形成を促します。</p>	
対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	
<p>①イラストや写真、ホワイトボードなどを用いて、自身で理解できる情報を適切に処理し（促し）、自身で選択できる環境を整えて一人ひとりの特性に配慮し支援致します。</p> <p>②昼食やおやつ等を含め、こだわりや偏食に対して部分的に自らが解除できるように支援します。</p> <p>③コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防や適切な行動が取れるように一人ひとりの特性に合わせた対応と支援をします。</p>	

事業所名：セカンドホームしん（児童発達支援）

作成日 2025年1月1日

項目	主なねらい
言語 コミュニケーション	①言語の形成と活用
	②言語の受容及び表出
	③コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用
	④人との相互作用によるコミュニケーション能力と状況に応じたコミュニケーション能力の獲得および向上
	⑤読み書き能力の向上
具体的な支援内容	
言語形成と活用	
①お子さま一人ひとりの特性に合わせて具体的な体験や意味の理解ができるように「目で見て理解できる」内容を掲示して職員が代弁して、その事実を声や言葉・音として覚えられるように支援致します。 ②言葉を通して身近な物や人を表して受容が行えるように支援致します。	
言語の受容及び表出	
①受容が少しずつ進み自ら伝えたい、発信したいと思えるような職員との信頼関係を構築していきます。 ②絵本の読み聞かせ、対象物を同語反復練習、お子さま一人ひとりの気持ちの代弁経験を通して支援を行います。 ③音声模倣で1音ずつ丁寧に発音することで誰にでも伝わる言語表出ができるように支援します。	
コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用	
①言語的コミュニケーションが図れるお子さまに対して、正しい言葉の理解と活用方法を繰り返しその場面に応じて伝え、支援致します。 ②非言語的コミュニケーションが図れるお子さまに対して、場面に応じたジェスチャーや仕草、表情や態度を繰り返し伝え、支援致します。 ③聴覚障害のあるお子様に対して、手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。	
人との相互作用によるコミュニケーション能力と状況に応じたコミュニケーション能力の獲得および向上	
①活動の中で職員のお手伝いをする、年下のお子さんのお世話をする、いろいろな年代のお子さんとチームを組む、リーダーの役割を担うなどいろいろな経験を積み重ねることでコミュニケーション能力が向上できるよう支援します。 ②活動の中でコミュニケーションを円滑に行うための人間関係作りや、状況を的確に把握し主体的にコミュニケーションを図れるように職員が声掛けをしたり、お手本を示すなどの支援します。	
読み書き能力の向上	
①お子さま一人ひとりの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。 （例）運筆、なぞり書き、模写と言う順番でお子さまに適した書字の練習を行ないます。 （例）興味のある物に関する本を用いて、読む事に興味を持てるように支援します。	

事業所名：セカンドホームしん（児童発達支援）

作成日 2025年1月1日

項目	主なねらい
人間関係 社会性	①アタッチメント(愛着)の形成と情緒の安定
	②遊びを通じた社会性の発達と他者との関わり(人間関係)の形成
	③自己の理解と行動の調整
	④仲間づくりと集団への参加
具体的な支援内容	
アタッチメント(愛着)の形成と情緒の安定	
<p>①話す・聞く・触れるなどのコミュニケーションを通して、人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を構築していきます。その信頼関係をベースに周囲の人や友だちと安定した関係を形成するための支援を行います。</p> <p>②あそびや活動などいろいろな経験を通して職員がお子さま一人ひとりの気持ちを代弁して対人関係を円滑に促します。</p> <p>③気持ちが崩れたり、不安になった時に、職員が話を聞き相談にのることで、安心感を得て、自分の感情に折り合いをつけ気持ちの切替ができるように支援します。</p>	
遊びを通じた社会性の発達と他者との関わり(人間関係)の形成	
<p>①感覚運動やマット運動を通して模倣行動の支援をします。</p> <p>②集団活動の中で感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊び、つもり遊びやごっこ遊び等の象徴遊びを行い社会性の発達を支援します。</p> <p>③活動の中で職員のお手伝いをする、年下のお子さんのお世話をする、いろいろな年代のお子さんとチームを組む、リーダーの役割を担うなどいろいろな経験を積み重ねることで社会性の発達や対人関係の能力を育めるよう支援します。</p> <p>④活動の中で、製作など一人で行なう活動や並行遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、ルールを守って遊ぶ協同遊びを行い、社会性の発達を支援します。</p>	
自己の理解と行動の調整	
<p>①職員はお子さま一人ひとりの特性を理解して、声掛けや指示のタイミングを統一して支援致します。</p> <p>②できる・できない等の自身の行動特性を理解し、気持ちや感情の調整ができるように配慮して支援致します。</p>	
仲間づくりと集団への参加	
<p>①個別課題や集団活動の中で、お子さま一人ひとりの特性を理解して状況や状態に合わせて苦手意識を限りなく少なく配慮できるように促していきます。</p> <p>②安心して参加できるように職員が側にいることで安全第一となり、職員自らが楽しむことができるように活動の設定を施します。</p> <p>③相手の気持ちや状況の理解が円滑に行えるように職員がフィルターとなり代弁して相互理解が図れるように支援致します。</p>	